

看護支援システム導入の現状について

金沢大学医学部附属病院 小藤幹恵 野川文子 前多公子 干場順子 浦美奈子 山内由美子
河辺巳知子 砂後谷かね子 谷元みゆき 和田出静子（看護部）
分校久志 佐藤 保（医療情報部）

患者のニーズを反映した個別的で質の高い看護を提供するには、看護の対象となる患者およびその家族の全体像を知る必要があり、そのためには非常に多くの領域の細かな情報が必要である。これらの多角的な情報を正確に迅速に把握することは、長期的・短期的な計画のための基礎となる。そして、看護者がこれらの情報を共有できることにより、安定した看護の提供につないでいくことができる。また、各看護者によって観察された患者状況を迅速に共有し正確に継続的に蓄積する方法の改善は、医療の効率化をもたらすことで患者に貢献できるという期待は大きい。また、現在、医療メンバー間に頻回に行われている「引継ぎのための転記」を軽減させて、情報の取得や伝達にありうる情報精度の劣化の危険を少なくすることができると思う。

このような理由により、当院看護部では、これまでに開発されてきた病院情報システムと連携した看護支援システムとして、電子手帳を利用した看護情報の活用システムの検討と、導入に向けての準備を進めている。

今回導入の看護支援システム（CAN-1300 NIHON KOHDEN）では、電子手帳（ナースノート）使用によるベッドサイドでの情報入力と病院情報システムと連携したワークステーションでの情報管理、帳票の自動作成が可能となり、正確で迅速な情報の共有による質の高い看護を行なう環境を向上させることを目指して、本年度中の稼動を予定している。ここでは、現在までの経緯と現状および今後について報告する。

当院の医療情報システムの内容

現在、院内全体で稼動している病院情報システムは、PC オーダーシステムとして処方、検査、食事、注射、画像・生理検査のオーダー、検査結果、薬歴、履歴、オーダー内容の照会、病名、医師、看護婦の登録、転科・転棟・転室、外出・外泊、入院・退院の登録などがある。他に、医事、物流、勤務管理、看護日報などの各システムがある。

看護支援システム開発状況

当院看護部では、十数年前から看護に必要な記録類を記録委員会で検討しながら整備してきた。基本的な記録様式は十数種類あり、一部の様式については看護単位により特殊性を加えたものとなっている。これらに含まれる情報は140種類程度に及ぶが、その中にはオーダーシステムの中に取り込まれているものが数多い。

看護業務の特徴として、チームメンバーが交替勤務をしながら24時間継続して看護を提供していくことから、適切な看護方針設定や現時点で必要な看護の判断のために患者の状態とその医療内

容について正確な情報をリアルタイムで収集し、必要情報を伝達していくことは必須である。そのため、看護実践の過程における情報の交換、引き継ぎ、確認は大きな比重を占めている。

前述の通り、今回の看護支援システム導入では、看護の質の向上に役立つ情報取得、処理、管理のために、本院における既存のオーダーシステム（NEC）と連携したシステム構築を目指している。看護部では、平成6年よりそれまでの医療情報委員会と基準・手順作成委員会の機能を合わせた看護システム委員会を発足させ、看護支援システムの構築に向けて方向性を検討し、用語の共通化に向けての調査、ワークシートの作成、標準看護計画の作成などを行ないながら準備を進めてきた。本年度よりこの看護システム委員会と記録委員会の機能を合同させて本システム導入の具体的な準備を開始した。

まず、これまでの記録の体系に基づいて、看護で必要とする情報について調査、分析を行ない、現行の記録や業務展開の中での各情報の収集と分散の状況を確認し、それに基づいて導入予定のシステムの特徴を活用する方向で検討した。そして、看護展開上で活用できる過程とその目的に応じた帳票内容について決定し、それぞれの帳票における必要情報項目とレイアウトの設定を行ない、またそれぞれの項目に対するメニュー内容について情報の取得方法や帳票間での情報の流れなどを含めて検討してきた。この経過はその時期と共に次の段にまとめた。今回は、21病棟の中の3病棟（循環器・呼吸器外科病棟、眼科病棟および放射線科、核医学診療科と血液・呼吸器内科の混合病棟）で試行導入を予定しており、その時期は準備のための期間から、当初計画より3～4ヶ月遅れる見込みである。

看護支援システムの開発の経緯と今後の予定（平成10年3月～）

3月 看護支援システムの概要についての説明会

電子手帳（ナースノート）のデモンストレーション、ワークシートの説明など

5月 カスタマイズ作業の打ち合せ開始 当初は10月頃の導入を目指す

導入スケジュールと作業内容について

全病棟での検討にしていくことにする（将来の拡充の対応）

6月 現行の記録類の分析、看護支援システムとの対応の検討（表1）

記録の様式、記載情報、転記情報、オーダーから取得できる情報（表2）

ワークシートの機能・名称の検討：①入院時看護基礎情報 1.2 ②カードックス1（看護ケア情報）、③カードックス2（処置・検査・ケア）、④ケアプランシート、⑤三測表（温度板）、⑥チャート（重症患者用経過記録）、⑦看護サマリー

7月 各ワークシートに必要な情報項目の検討

8月 各ワークシートのレイアウト・各項目の情報取得方法の検討

三測表について医師とのワーキングによる検討

9月 ワークシートの各項目のメニューについての検討

10月 システム全体を通しての関連性、レイアウト、項目、メニューの再検討

今後の予定

11、12月 実際の運用についての検討

表1. 看護支援システム —看護業務・現在の記録とコンピューター利用と帳票類の関連—

金沢大学医学部附属病院 看護システム委員会

現在の看護業務と記録			対応する看護支援システム		
経過	看護業務	記録用紙	入力・データ	ワークシート他	既存のデータ
外来受診				(太字は帳票名)	患者基本情報
入院予定	患者像の把握 入院病棟との連絡	入院患者連絡表			入院基本情報
入院	患者像の把握	看護記録 1. 2. 3号用紙	左記記載項目 #パソコン入力	①入院時看護基礎 情報1. 2	入院・退院履歴 転科・転棟・転 室履歴 外出・外泊履歴 主治医 受け持ち看護婦
	アセスメント			(患者一覧画面)	
	看護計画の立案	カードックスA	看護ケア情報 #パソコン入力	②カードックス1 (看護ケア情報)	
検査	指示受け	カードックスB	[個別看護計画*]		[標準看護計画の 登録*]
	具体的ケア	処置検査実施簿	具体的ケア #パソコン入力	[看護計画シート*]	[***]は今回の 看護支援システム には含まない
治療	処置検査 注射 与薬などの実施	情報用紙	処置検査 指示によるもの #パソコン入力	③カードックス2 (処置・検査・ケ ア)	診療支援情報 処方 注射 検査 検査結果照会 画像 食事 病名
	患者状態の観察		処置検査の実施 *ナース入力	(実施したものは 文字色が変化)	
		看護記録4号用紙	観察、計測結果 *ナース入力	④ケアプランシー ト (患者一覧画面か ら受け持ち患者を 選択)	
		三測表		⑤三測表	
	出棟での治療検査	検査連絡表	ナースでは、 通信終了後は、 「カードックス 2」「三測表」「チ ャート」 に記載されている 入院患者全ての 最新の情報を見る ことができる	⑥チャート(重症 患者用経過記録)	
転科・転棟		手術室看護記録			
		透析記録			
転院・退院		看護サマリー		⑦看護サマリー	退院情報
外来				今後の検討事項 帳票以外の記録 実際の運用	
再入院		外来連絡表			

平成11年1月 実動への準備

2月 実施予定病棟への導入・運用開始

これまでの経緯の中で取り組まれた主な問題

1. 現行の記録との関連への理解と合意
2. 2社連携のためオーダーからの取得可能な情報についての調整の難しさ
3. 医師記録との関連の多いワークシート（三測表、チャート）の検討
4. 追記式でないワークシート（三測表、カードックス2）であるため運用に向けての発想の転換
5. 当初導入予定台数の制約
6. メニュー化に当たって用語の共通化、標準化、複雑で莫大な作業

表2 記録用紙・ワークシートと情報項目の一覧（○：記載されているもの） 一部分の例

情報項目	ワークシート	入院時看護基礎・1・2・カードックスⅠ・Ⅱ						ケアプラン 情報用紙
	現在の記録	1号	2号	3号	カード1	カード2	処置検査簿	
1 日付					○	○	○	○
2 患者氏名		○	○	○		○	○	○
3 ID番号		○				○		○
4 年齢		○				○		
5 生年月日		○				○		
6 性別		○				○		
7 住所		○				○		
8 電話番号		○				○		
9 入院年月日		○				○		
10 職業			○					
11 職業歴			○					
12 身長		○						
13 体重		○						
14 感染症		○						
15 血液型		○						
16 アレルギー	コード 薬品	○						
17 退院年月日		○				○		
18 入院期間								
19 記載看護婦	病棟ナース	○				○		○
20 受け持ち看護婦		○				○		
21 責任看護婦							○	
22 婦長名								
23 病棟名								
24 病室名		○				○	○	○
25 看護度								
26 移動	担送 扶送	○						
27 バイタル		○						
28 入院までの経過		○						